躍動する風光、田園の長閑（のどか）さ、そして森の小径の静けさ

# 浅間・八ヶ岳 パノラマトレイル

## 千曲川コース

約16.0km / 高低差230m

小諸大橋脇・胡蝶滝の裏手の窟より　写真提供：八十二文化財団

MOMOFUKU ANDO CENTER
安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター

**浅間・八ヶ岳パノラマトレイル** Asama Yatsugatake Panorama Trail
浅間・八ヶ岳パノラマトレイルは、長野県の東部、雄大な浅間連峰や八ヶ岳連峰を望む風光明媚なエリアに設定された散策の道です。小諸市にある安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター（略称：安藤百福センター）を起点とし、畑や田んぼ、雑木林など、多様な里山の自然と歴史を楽しめる５コースが設定されています。

### 千曲川コース Chikuma River Course

距離 約16.0km ／高低差 約230m ／所要時間 徒歩約４時間
千曲川の浸食などから生まれた断崖、浅間山のパノラマ、古い民家や田園など、ダイナミックな景観と素朴な集落の風情の両方が楽しめるコースです。

安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター Momofuku Ando Center —35分 2.2km→ 大久保橋 Okubobashi Bridge —30分 2.0km→ 三の門 Sannomon Gate（W.C）
—30分 1.8km→ もどり橋 Modoribashi Bridge —35分 2.2km→ 岩根 Iwane —20分 1.4km→ 千間無池 Himamuike Pond —30分 2.2km→ 鴇久保 Tokikubo —10分 0.7km→ 安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター
岩根 Iwane —20分 1.6km→ 大杭橋 Okuibashi Bridge —20分 1.1km→ 小諸大橋記念公園 Komoro Ohashi Memorial Park（W.C ＊冬期閉鎖）—10分 0.8km→ 岩根 Iwane

＊浅間山の展望がよいので、左まわりがおすすめです。

### 安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センターについて

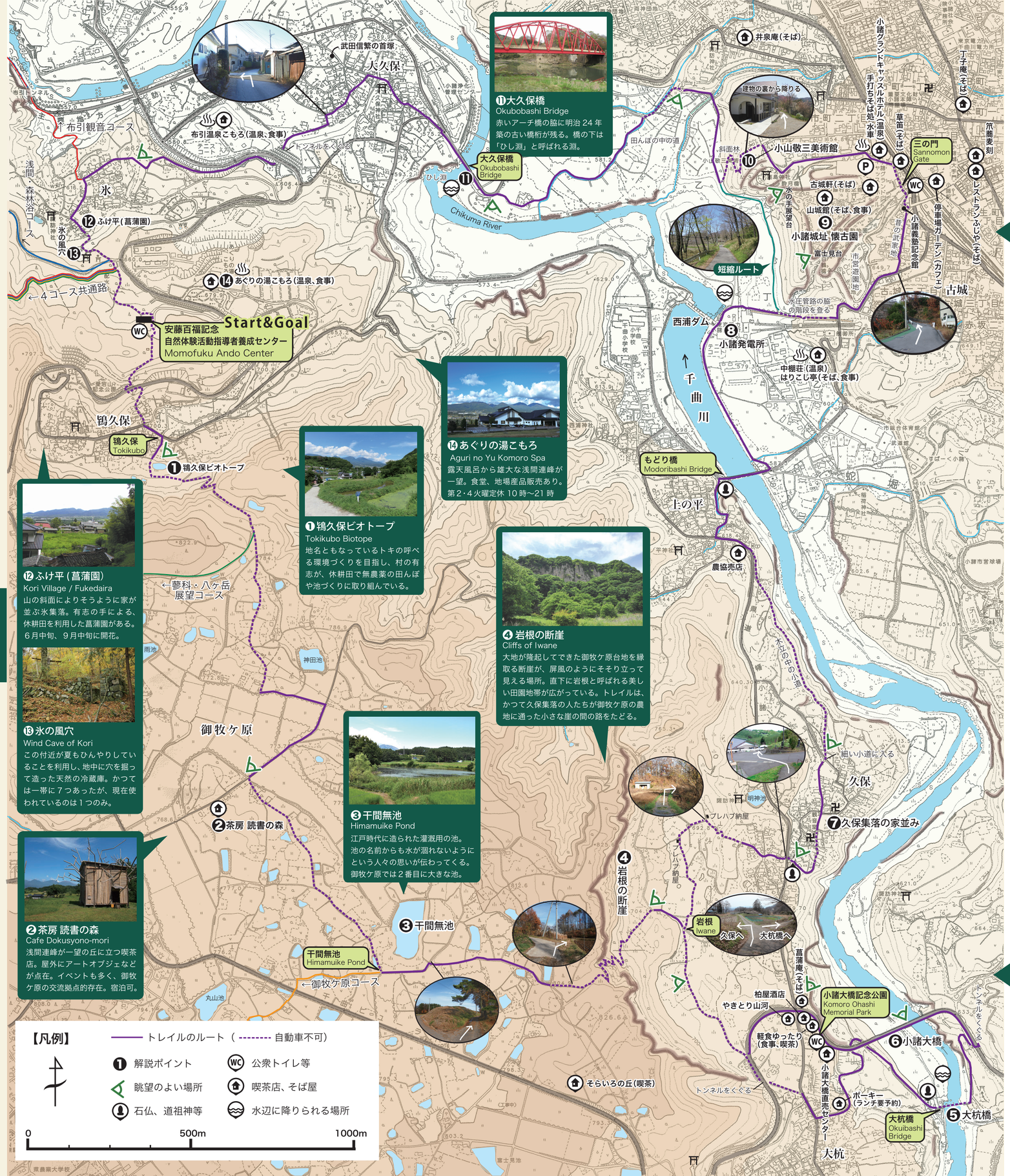
安藤百福センターは、子どもたちが行う自然体験活動の「上級指導者」養成と、指導カリキュラムの研究・開発を目的としてつくられた日本初の専門施設です。2010 年 5 月、公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団（略称：安藤財団）が安藤百福の生誕百年記念事業として、雄大な浅間連峰を望む地に開設しました。

**小諸ツリーハウスプロジェクト**
Komoro Tree House Project
安藤百福センターの森では、普段自然に接する機会の少ない人に自然体験に興味を持ってもらおうと、著名なクリエイターがデザインした「アートツリーハウス」を７棟、制作・展示しています。

**安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター**
〒384-0071　長野県小諸市大久保 1100
TEL: 0267-24-0825 FAX: 0267-24-0918
URL: http://momofukucenter.jp/
E-mail: info@momofukucenter.jp

トレイルマップ販売価格：150 円（税込）

2016.2






**⑪大久保橋**
Okubobashi Bridge
赤いアーチ橋の脇に明治 24 年築の古い橋桁が残る。橋の下は「ひし淵」と呼ばれる淵。



**⑭あぐりの湯こもろ**
Aguri no Yu Komoro Spa
露天風呂から雄大な浅間連峰が一望。食堂、地場産品販売あり。第２・４火曜定休 10 時～21 時



**❶鴇久保ビオトープ**
Tokikubo Biotope
地名ともなっているトキの呼べる環境づくりを目指し、村の有志が、休耕田で無農薬の田んぼや池づくりに取り組んでいる。



**⑫ふけ平（菖蒲園）**
Kori Village / Fukedaira
山の斜面によりそうように家が並ぶ氷集落。有志の手による、休耕田を利用した菖蒲園がある。６月中旬、９月中旬に開花。



**⑬氷の風穴**
Wind Cave of Kori
この付近が夏もひんやりしていることを利用し、地中に穴を掘って造った天然の冷蔵庫。かつては一帯に７つあったが、現在使われているのは１つのみ。



**❹岩根の断崖**
Cliffs of Iwane
大地が隆起してできた御牧ケ原台地を縁取る断崖が、屏風のようにそそり立って見える場所。直下に岩根と呼ばれる美しい田園地帯が広がっている。トレイルは、かつて久保集落の人たちが御牧ケ原の農地に通った小さな崖の間の路をたどる。



**❸千間無池**
Himamuike Pond
江戸時代に造られた灌漑用の池。池の名前からも水が涸れないようにという人々の思いが伝わってくる。御牧ケ原では２番目に大きな池。



**❷茶房 読書の森**
Cafe Dokusyono-mori
浅間連峰が一望の丘に立つ喫茶店。屋外にアートオブジェなどが点在。イベントも多く、御牧ケ原の交流拠点的存在。宿泊可。

**❽小諸発電所・西浦ダム**
Komoro Power Plant・Nishiura Dam
東京電力の水力発電用のダム。昭和 12 年に完成。当時のままのレトロな建築物が残る。ダム下の河原に降りられるが、放流に注意。
トレイルは、発電所の水圧管路脇の階段を登っていく。この階段は、春は桜のトンネルになる。

**❾小諸城址 懐古園**
Kaikoen Park (The Ruins of Komoro Castle)
切り立った崖からなる田切地形を活かした天然の要害・小諸城は、戦国時代に武田信玄により原型が築かれた。現在は懐古園として整備され、動物園や遊園地も併設。桜と紅葉の名所としても有名。三の門は、国の重要文化財に指定されている。
開園時間８：30～17：00　冬期は水曜定休

**❿小山敬三美術館**
Keizo Koyama Museum
小諸出身の洋画家・小山敬三の作品が飾られている美術館。村野藤吾設計の地形を活かした建物は、毎日芸術賞受賞作品。その横に小山敬三のアトリエの一部が茅ヶ崎から移転されている。トレイルのルートは、そのアトリエの裏から斜面を下る。

## 千曲川コースの特徴

### 1 千曲川沿いの崖線 ～島崎藤村の愛した風景

小諸の風景の特徴・魅力は、山の眺望と千曲川沿いの崖の造形といえます。小諸はフォッサマグナの東端にあたることもあり、何百万年に渡るダイナミックな地殻変動や火山の噴火が複雑な地形を生み出しました。
千曲川の西側には、御牧ケ原台地の隆起による切り立った崖線が連なり、千曲川はそれを回り込むように流れています。川の東側には、浅間山の噴火による軽石流の堆積を浸食した「田切地形」と呼ばれる複雑な浸食谷地形が見られます。
この地形から生まれた雄大にして詩情豊かな風景は、明治時代に島崎藤村の詩「千曲川旅情のうた」により全国に紹介されました。

### 2 田切地形と小諸城址 ～川を背にした天然の要害

小諸城は、全国でも珍しい「穴城（あなじろ）」と呼ばれる、城下町の下にある城です。複雑な田切地形による深い谷を空堀として使い、遠くの狼煙（のろし）が見えるよう千曲川を一望する崖上に展望台を設けました。

懐古園・水の手展望台

### 3 御牧ケ原の丘とため池 ～風渡る美しき田園

御牧ケ原台地の上には、森と田畑とため池が織りなす美しい田園風景が広がっています。丘の上からは、浅間連峰、北アルプス、八ヶ岳の雄大なパノラマが楽しめます。
また、樹林とため池の点在する環境は豊かな生態系をはぐくみ、特に昆虫の種類の多さは特筆に値します。
ここは、奈良・平安時代は朝廷の牧場でした。水がないため村は形成されず、明治以降の灌漑事業により田畑が拓かれ、人が住むようになりました。

八ヶ岳の眺望

### 4 川辺の集落 ～布引観音に守られた里

御牧ケ原台地を縁取る崖線と千曲川の間の狭い斜面は「川辺」と呼ばれ、８つの集落が点在しています。
川辺地区は西北の断崖に建立された布引観音の影響で、集落内や村の道のあちこちにお堂や石仏が点在し、今も大事にお奉りされています。
また川辺は、古い養蚕農家の家並みの残る地域です。このトレイルの中では、特に狭い斜面に立地している久保と大杭の、石垣が折り重なる美しい集落景観が見どころです。

久保の石仏（十九夜様）

**❺大杭橋**
Okuibashi Bridge (old brige)
昭和 34 年に造られた風情のある吊り橋。
橋の西側には、湯の瀬温泉（今は営業していない）の施設がある。橋下右岸の石積みのような河床は、市内では最も古い時代の地層で約 400 万年前の溶結凝灰岩層。これは大杭背斜と呼ばれる地層の底で、下流 500m の左岸には、ダイナミックに地層がうねった断崖の「なぎなた岩」がある。

**❻小諸大橋**
Komoro Ohashi Bridge（new bridge）
平成６年に竣工した、高さ 60m 長さ 330m の橋。
橋の西側には小諸大橋公園が整備され、公衆トイレや農産物の直売所、駐車場が完備されている。

**❼久保集落の家並み**
Kubo Village ( a row of old houses)
川辺集落の中でも古い家並みや石垣、寺社などがよく残り、浅間山のパノラマが広がる美しい集落。村のはずれにある明神池は、一夜にして池となり、またどこからも水が流れ込んでいないが枯れることはないといわれる。諏訪神社が祀られている。